

戦争が駆け足でやって来る！ (その2)

国民の命より米軍優先？これが安倍の言う安全保障だ！

5月17日に米ハワイ州オアフ島で米海兵隊のMV22 オスプレイが着陸に失敗し炎上、乗っていた隊員22人のうち一人が死亡、21人が病院に搬送された。(その後1名死亡)

この事故にたいして沖縄の翁長県知事は「安全性確保の見通しが立っていないとして、原因が究明されるまで飛行停止すること」を米側に求めた。

一方日本政府は「安全だと考えている」(菅官房長官)「在日米軍の訓練は非常に重要。当事者の米側が判断すべきだ」(中谷防衛相)という考えを示した。

すでにオスプレイは沖縄の米軍普天間基地にMV22が24機配備され、より事故率が高いCV22が米軍横田基地に10機配備される予定になっている。

まさに「いつでも、どこでも事故が発生する可能性がある」にもかかわらず、米軍は日本国民の感情などは無視して日本全国で低空飛行を含めた訓練を実施している。

そして日本政府は国民の安全ではなく、米軍の軍事行動を優先することを表明している。事故が発生すれば、一定期間の訓練を中止して、原因究明するのが当たり前のことではないのか？まさに安倍がいう「安全保障」の正体は、「国民の安全」ではなく、「米軍に服従して共に戦争を行うこと」を明らかにしたといえる。

09年米公聴会「民間機なら不合格」

米国防省元首席分析官レックス・リボロ氏

「国防省は、全エンジンが停止しても飛行モードに転換して着陸できると説明しているが、転換には12秒が必要。完璧に転換をこなしても、機体は約490m降下する。民間輸送機の試験なら不合格だ。」

MV22とCV22の事故率

MV22…米海兵隊仕様	10万飛行時間当たり 2.12件
CV22…米空軍仕様	10万飛行時間当たり 7.21件

(東京新聞 5月19日朝刊より)